

「いわせてもらお」(朝日新聞)の面白かった作品

笑いは日々の生活を潤し明るくしてくれます。寒さの底となる今月は、心(頭かな?)をポカッと温めてくれるような投稿を紹介します。以下は、この半年間に朝日新聞に掲載された「いわせてもらお」から、特に面白かった作品を私の目が選んだものです。

◎騒々しい

電車で乗り合わせた3人の中年女性。「イヤホンからもれる音楽ってうるさいわ」「はた迷惑よね」「近頃の若い子は周りを考えないから」と口々に文句を言っていた。彼女たちが電車を降りた瞬間、男性のため息交じりの声が聞こえてきた。「うるさくて本が読めやしない」(横浜市・みんなでうなずいた・63歳)

◎コペルニクスの転換



親友(68)から「英国旅行を楽しんできました」とのファクスが届いた。外国に行ったことのない私が「いいな。私も英国に行ってみたい」と言うと、そばで新聞を読んでいた夫(80)が、「英国から見れば日本も外国だろう。発想の転換が大切よ発想の転換が・・・」

(福岡市・なぜか妙に納得してしまった・69歳)

◎人のふり見て・・・

パン屋のレジに並んでいたら、会計を済ませた前の客が「お客さま、お釣りを忘れています」と店員に言われていた。「そそっかしいわね」と思いながら、しっかりとお釣りを受け取った私。でも、店を出るときやはり声をかけられた。「お客さま、お品物をお忘れです」



(茨城県ひたちなか市・我は忘れないでいたいです・64歳)

◎心配の種は・・・

病気の手術で入院することになった。心配しないようにと、子どもたちに明るく告げたら高3の長女が「え、ご飯、どうするの?」。そう来るかと思いながら「他に、言うことあるんじゃない?」と言うと、しばらく考えて、ポツリ。「じゃあ、洗濯はどうするの?」

(広島県東広島市・そんなの自分でやりなさい!・47歳)

◎ドレミファソ

一昨年、定年退職した夫(62)は一人で出かけることがほとんどない。どこへ行くのも私と一緒に。先日、外出先であった友人(62)からも、「ラブラブでいいわね!」と冷やかされた。でも、私の気持ちは「ラ」じゃなくて「シ」なんですけど・・・



(埼玉県久喜市・一人でブラブラされるよりマシかな?・59歳)